

交通事故発生状況（令和7年6月末現在）

1 交通事故発生状況

(1) 全国及び管内各県の死者数

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
全国	1,161	1,182	-21	-1.8%
管区計	128	141	-13	-9.2%
富山	10	7	+3	+42.9%
石川	10	11	-1	-9.1%
福井	12	8	+4	+50.0%
岐阜	24	28	-4	-14.3%
愛知	50	65	-15	-23.1%
三重	22	22	±0	±0%

(2) 県下の交通事故発生状況

区分	人身件数	死者数	負傷者数	
			軽傷者数	重傷者数
令和7年	1,408	24	1,735	192
令和6年	1,396	28	1,700	170
増減数	+12	-4	+35	+22
増減率	+0.9%	-14.3%	+2.1%	+12.9%

(3) 月別死者数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和7年	4	1	7	3	3	6	-	-	-	-	-	-
令和6年	6	6	3	1	4	8	3	6	6	5	10	12
増減数	-2	-5	+4	+2	-1	-2	-	-	-	-	-	-

(4) ブロック別死者数

区分	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛驒	高速隊
令和7年	8	4	3	7	2	0
令和6年	6	7	4	6	4	1
増減数	+2	-3	-1	+1	-2	-1

(5) 年齢層別死者数

区分	子ども	高校生	若年者	25～59歳	60～64歳	高齢者
令和7年	0	1	1	3	0	19
令和6年	0	0	0	8	3	17
増減数	0	+1	+1	-5	-3	+2

2 死亡事故(24件、24人)の特徴

今年の死亡事故は24件24人発生し、前年同期より2件4人減少している。岐阜県の全国順位(ワースト)は、死者数18位、増減数31位、増減率29位。また、人口10万人当たりの死者数は1.25人、ワースト16位。(全国平均:0.94人)
※ 人口10万人当たりの死者数は、R6.10.1現在の推計人口により算出

(1) 高齢者の死者が約8割

高齢者の死者が19人で、前年同期より2人増加し、全死者(24人)の79.2%を占め、このうち歩行者が8人と全高齢者の42.1%を占める。また、80歳以上の高齢者が11人で、全高齢者の57.9%を占める。

(2) 高齢運転者による事故が4割強

高齢運転者による事故が9件で、前年同期より4件増加し、全運転者事故(22件)の40.9%を占め、このうち屋間の事故が7件、単独事故が5件である。また、65～74歳の運転者による事故が6件で、全高齢運転者事故の66.7%を占める。

(3) 歩行者の死者が約4割

歩行者の死者が9人で、前年同期より1人増加し、全死者の37.5%を占め、このうち道路横断歩行者が3人(うち横断歩道横断中1人)である。また、高齢歩行者が8人で、全歩行者の88.9%を占める。

(4) 飲酒関係事故が増加

飲酒運転での事故が2件で、前年同期より2件増加し、全事故(24件)の8.3%を占める。

《 その他 》

○ 若年運転者事故が2件で、全運転者事故(22件)の9.1% [前年同期:2件・8.3%]

○ シートベルト非着用者は3人で、自動車乗車中死者(8人)の37.5%[前年同期:8人・61.5%]

注:若年は24歳以下、高齢は65歳以上をいう。夜間は日没から日の出までをいう。運転者事故は原付以上運転者が第1当事者(主たる原因)となった事故をいう。飲酒関係事故は原付以上の第1当事者が飲酒状態による事故で検知不能を含む。

3 「30日死者」(24時間を経過し30日以内に死亡した者)

30日死者は2人で、前年同期と同数である。

※ 6月末で死亡を確認したもの。

【過去10年間の死者数推移】

年別	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
6月末	47	48	37	44	40	22	29	32	19	28	24
年間	106	90	75	91	84	43	61	75	50	70	...